

パートナーズ代表  
山本克也さん

「病気に押されてしまわないように……」  
HIV陽性者とそのまわりの人たちへの支援プロジェクト  
〈パートナーズ〉を立ち上げた山本克也さんにお話をうかがいました。

✚ エイズ対策のキーパーソンたち



発行：MASH大阪  
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F  
☎ & 06-6361-9300  
http://www.mash-osaka.com/  
平成30年度厚生労働省委託事業  
「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式」事業費により制作されました。  
秋号の紙面 VIEW  
2面 時事ネタ WATCH  
3面 特別コラム・男色エンタメ紀行  
4面 知られざる偉人伝  
7面 海外男街通信「マラウイ」

MASH大阪(以下M)：新しい事業を立ち上げたきっかけは？  
山本：かなり前から別の団体でHIV陽性者支援をやっていたのですが、その時の事業の柱が対面サポート、交流会、勉強会、三つ。そのうち対面サポートと交流会を引き継ぐかたちで始めました。  
M：当時のやり方をそのままに？  
山本：いえ、当時から、告知を受けて数年間経っている人とそうでない人ではニーズが異なるなど思っていました。そこで判明間もない方を対象にして、少人数のグループミーティングをやりたい始めました。でも、そのグループの中でも、世代が違うとなかなかコミュニケーションがうまくいかないという事が分かり、「ミドル(中高年)や「既婚者」という具合に、さらに細かいグループに分けていきました。こうした対象を絞り込んだ少数のグループを支援するやり方を引き継いだわけです。  
M：つまりゲイ・バイセクシユアル男性でHIVと共に生きている人たちをきめ細かくグループに分けて支援している？  
山本：それが主な活動なのですが、それ以外にも幾つかの柱があります。  
M：具体的には？  
山本：まず、検査を受けたいのだけれど不安で受けられないという人たちへの支援です。検査

自体が怖いというより、もし陽性だったどうしよう…という漠然とした不安を抱いてしまします。そういった人々には、陽性と分かったらどのような治療やサービスが受けられるかを具体的に話すことで不安を軽減します。それから、陽性者の周りには、人々たちへの支援も少しずつ始めています。パートナーや友人、家族からHIV陽性だと告げられて、どのようにつきあっていったらいいのか迷っていたり、誰にも相談できなくて一人で抱え込んでしまっている人、モヤモヤしたものを引きずりながら暮らしている人からまず話を聞く。もしHIVに対してネガティブなイメージを抱いているようであれば、それを払拭するためにも、HIVと共に生きている人たちの医療の状況は大幅に改善されていることを伝えたい。  
M：今お聞きした二つはゲイ・バイ男性に限らないサービスとこのことになりませんか？  
山本：そうです。まだまだ一部のの人たちには、未だに昔のエイズのイメージを引きずっていたり、新しい情報が全く届いていない人たちがいます。最新の情報をふまえて、HIVに感染していることがわかった場合、どのような生活のビジョンが描けるかを一緒に考えるというスタンスですね。情報格差を埋める作業といえるかな？一方、すでにHIVを持っている方に対しては、孤立して病気に押されてしまわないように支援する、というの

● PARTNERS  
https://prtms.net  
・HIV検査が不安な方  
・HIV陽性が判明して間もない方  
・HIV陽性者の周囲の方  
・HIV陽性者に関するお問い合わせも考慮しております。  
対面相談などご希望の方は、本名などの個人情報をお知らせする必要があります。ハンドルネームをご記入の上、ご連絡ください。

が基本のスタンスですね。それともひとつ、お呼びがかかればの話ですが、学校・行政等に出かけていって、当事者としてお話をすることもあります。  
M：すいぶん幅広い活動をなさっていますが、活動を続けていく原動力は何でしょうか？  
山本：それが自分でもよくわからないのです(笑)。強いていえば、対面サポートを初めて利用する方の多くは、最初不安顔だったりののですが、お話をしていく内に利用者さんの中にいるモヤモヤが少しずつ解消されていくにつれて、不安顔から安堵の笑顔に変わっていくんです。もちろん全てのモヤモヤが解消される訳ではありませんが、前向きに向き合っていくという利用者さんの心の表れだと思えます。なので、利用者さんの笑顔が私の原動力になっているんだと思います。あと、一人暮らしをしているので、社会のどこかに自分の居場所をつくりたいと思っているのかもかもしれませんね。  
M：興味深いお話、どうもありがとうございました。

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です

大阪府版(2018年8月24日現在)

[ 大阪市 ]	
北区保健福祉センター 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・金曜日 / 9時30分～11時 水曜日 / 14時～15時30分 第5金曜日 / 18時～20時
中央区保健福祉センター 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木 / 9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ) / 14時～15時
淀川区保健福祉センター 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日 / 14時～15時30分 火曜日 / 9時30分～11時
chotCAST 大阪検査相談・啓発・支援センター 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 火・木・土曜日 / ☎06-4708-5035 日曜日 / ☎06-4708-5339 ※いずれも検査実施時間帯のみ。	火・木曜日 / 18時～20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★ / 14時～15時30分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 ※土曜日は12時40分に整理券を配布。 日曜日のみ事前予約制(スマホ)http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/ http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/m
[ 堺市 ]	
堺保健センター 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-238-0123	第2木曜日 / 9時～11時
中保健センター 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3木曜日 / 9時～11時
東保健センター 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日 / 9時～11時
西保健センター 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳保健文化センター内) ☎072-271-2012	第1火曜日 / 9時～11時
南保健センター 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日 / 9時～11時
北保健センター 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日 / 9時～11時
ちぬが丘保健センター 堺市堺区協和町3-128-4 ☎072-241-6484	第1水曜日 / 13時30分～15時30分
美原保健センター 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日 / 13時30分～15時30分
堺市保健所(夜間検査) 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	奇数月・第3水曜日 / 18時30分～20時(先着20名) HIV・梅毒
堺市保健所(平日即日検査)★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第4木曜日/10時～11時(先着20名)
さかいサンサンサイト★ 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	第1土曜日 / 10時30分～12時(先着20名)
[ 東大阪市 ]	
東保健センター 東大阪市南四条町1-1 ☎072-982-2603	第1・3金曜日 / 9時30分～11時
中保健センター 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日 / 9時30分～11時
西保健センター 東大阪市高井田元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日 / 9時30分～11時

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方  
コミュニティセンター ディスタ  
community center dista  
性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。

MAP  
http://www.dista.osaka  
06-6361-9300  
木曜～日曜/17:00～22:00 月曜～水曜 休み  
http://www.dista.osaka/

HIV陽性とわかって間もない方  
ひよっこクラブ  
HIV陽性とわかって間もない人たちのためのグループミーティング  
http://www.hiyokkoclub.com/

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性  
Cafe・Bar an opportunity  
～ただのきつけ～  
http://www.60.atwiki.jp/anopportunity/

エイズに関する様々な相談をしたい方  
エイズ予防財団  
エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。  
0120-177-812 (無料)  
※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)  
月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

[ 南界堂通信第24号 編集後記 ]

●以前勤めていた職場の先輩が見事にゴールイン！自分の事のように嬉しくて、拳式&披露宴は爆笑のオンパレード!高砂の新郎席を乗っ取り、花嫁姿の先輩と腕を組んで記念撮影!まるで偽装結婚ってな感じです!結婚願望が少し出てきちゃいました!(笑)(伴仲)  
●LGBT理解促進と聞きます。その理解すべきことに差別の定義(差別の構造)があるとよいと思います。(LGBTに限らず)差別に気づくことができ、適切に対応できる方が増えるように。(泰平)  
●6月の大地震、皆様の所は大丈夫でしたでしょうか。私は、(普段は1人暮らしですが)偶々この日は横に1名添い寝してたので、早期の大揺れに目覚めて抱き合いました(^\_^)災害時のセーフティーネット等々、考えさせられました。(大畑)  
●数年後に迫る年金生活にそなえ、生活習慣をすこしづつ変えようと考えております。なるべく自炊する、なるべく糖質を抑えた食事を工夫する、なるべくクーラーを使わない、なるべく「なるべく」を「断固」にする、嗚呼……。(哲)

時事ネタ WATCH 中・高年MSMと暮らし



広がる地方自治体の取り組み

「LGBTトイレ」には議論も

Wi-Fi パートナーシップ 制度が大阪市でも!

本誌14号のこのコーナーでは、渋谷区、世田谷区の同性パートナーシップ制度の開始を

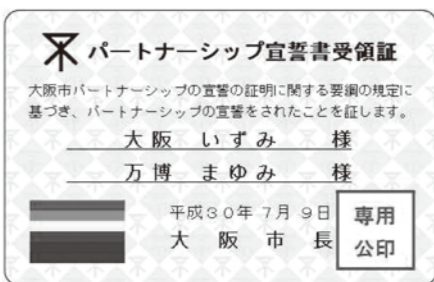
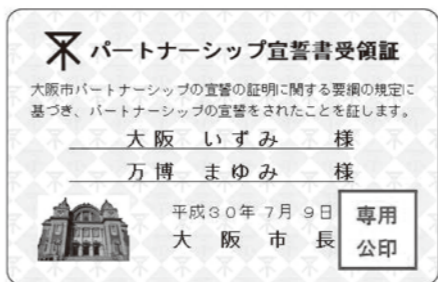
取り上げました。それから早3年、那覇市、札幌市、福岡市・・・と県庁

所在地にまで広がってきましたが、遂に7月9日、われ

Wi-Fi 宝塚市「0件」はなぜ?

一方、近畿で初導入の(2016年6月)宝塚市の申請件数

が、未だに「0件」である点は、ネットでも話題になっています。



数種類の中から自分の好きなデザインを選ぶという宣誓書受領書(見本)

当事者の安心にもつながっている。できる限り利用しやすくしたい」としている。市、市の担当者の

全国の隅々までこの制度が広がっていくのは歓迎すべきこと

①同性パートナーシップを市が認めると言っても、では、具体的にどういうメリットがあるのか、「実利」が今いち不明?

②人口規模の小さい自治体だと、カムアウトするに等しいという心理的ハードルが強い?

特別コラム てるちゃん、ありがとう



キリスト教会の牧師であり、大学教員であり、何よりもエイズを患う人たちの援助者としてまことに大きな存在であったてるちゃんこと榎本てる子さんが

「CELEBRATION OF LIFE」と名付けられた、てる

ちゃんの告別式に行ってきた。何もかもが型破りの、でも考えてみると「コレが本来の告別式なのじゃないかしら」と

てるちゃんは、アシユラム運動(教派を超えて祈りの生活を

活動に触れ、大きな影響を受けます。

帰国後は、高校で聖書を教えながらエイズの活動を始めた

天真爛漫で豪放磊落、でも繊細で傷つきやすい面も持ち合わせたてる



Wi-Fi 「LGBTトイレ」の波紋

地方自治体の取組みの中で、一方で、当事者からの批判

や反発を受けて、撤回・修正されるものも現れています。

「多目的トイレにですね、レインボーマークを貼ってLGBT



現在大阪府役所に掲げられている多目的トイレの標識

にご利用できますよということ、で、そういうのを一定進めてい

そうじゃない当事者もいるんですけど、この指摘を受けて、

「LGBTトイレ」……マークを貼ることでかえって使いづらいという声や、そもそもトランスジェンダーが直面する

問題だがLGBTの問題ではないという声も聞かれました。2月には、京都で「LGBTトイレ

「自分もいわば「LGBT当事者」ですが、トイレのレインボーマークがこんな

た。ゲイを茶化するようなテレビドラマが多かったなか、一線を画す

田亀先生のマンガ『弟の夫』がテレビドラマに!

男色エンタメ紀行

今年の3月、BSプレミアムで、5月にはNHK総合テレビで



『弟の夫』全4巻、distaの本棚に並んでいます!しかも、1巻目の裏表紙には田亀先生の直筆サイン入り!

女の子を持つ夫婦がいて、その子供達はゲイのカップルがす

「弟の夫」全4巻、distaの本棚に並んでいます!しかも、1巻目の裏表紙には田亀先生の直筆サイン入り!

「普通って何?」ってドラマでも言ってるよね。私はそんな友人達の姿が「普通」なのだと思った。

「同性愛者」という難しい役割を役者経験のない把瑠都が演じる

また、地方自治体によって「LGBT専門相談」を開始する所もありますが、相談

「LGBTトイレ」……マークを貼ることでかえって使いづらいという声や、そもそもトランスジェンダーが直面する

問題だがLGBTの問題ではないという声も聞かれました。2月には、京都で「LGBTトイレ

「自分もいわば「LGBT当事者」ですが、トイレのレインボーマークがこんな

た。ゲイを茶化するようなテレビドラマが多かったなか、一線を画す

緒にいたい。そう思う人と温かく穏やかな日常を送ることが一番の幸せなのだ

「同性愛者」という難しい役割を役者経験のない把瑠都が演じる

「普通って何?」ってドラマでも言ってるよね。私はそんな友人達の姿が「普通」なのだと思った。



# 法学者ギユスターヴ・ボアソナード

## 偉人伝



ギユスターヴ・ボアソナード  
(フランスの法学者、教育者  
/1825～1910)

### 「日本のゲイの隠れた大恩人？」

文 ● 鬼塚哲郎  
数年後の定年退職を待ち焦がれる大学教員。考えてみれば、明治の刑法典がイギリスやドイツの法学者の影響のもとに編纂されたと仮定したら、男色の咎で斬罪されたイギリスのオスカー・ワイルドや強制収容所で殺された多くのゲイたちのことを考えるまでもなく、日本のゲイの運命はすっかり違ったものになったかもしれないですね。やっぱりボアソナード先生に感謝しなければ……

このコーナーでは内外のさまざまな「偉人」を紹介してきたが、日本のゲイがもっとも感謝すべき「偉人」は誰だろうと考えた時、ひょっとするとそれはボアソナード先生ではないか、と思いついた。ギユスターヴ・ボアソナードはフランスの法学者であり、お雇い外国人として明治の初めに来日、我が国の法制度の基盤づくりに

多大の貢献をなした人である。そして日本のゲイに対する彼の貢献は、男色を取り締まる法律を近代日本刑法典から削除したところにある。少し歴史を遡ってみよう。読者のみなさんご存じのとおり、江戸時代には男色を違法とするいかなる法律もなかった。もしあったとしたら、「オレは生涯で3742人の

女、725人の男と交わったぞ」とよく世之介の一生を描いた井原西鶴の『好色一代男』のような小説は決して書かれなかっただろう。しかし明治維新で状況は一変。統一的な法体系を構築しようとした明治政府は明治3年に清帝国の法律をもとに新たな刑法を制定。この中に「鶏姦条例」と呼ばれる、アナルセックスを違法とする条項が含まれていた。

しかし明治政府は、かつて、かれらが模範と仰ぐ西欧諸国の法律をふまえた、近代的な刑法を整備する作業に取り組み。作業の導き手として白羽の矢が立ったのが、当時パリ大学の法学准教授であったボアソナード先生だった。当時彼は48歳。パリ大学正教授という名譽ある地位にも少し手の届く状態にあった。極東の小国からのお誘いには迷わずに迷ったらしいけれど、熱烈なラヴコールに根負けしたのか、ついに渡航を決意、マルセイユから出港したのが明治

6(1873)年。翌7年には我が国最初の本格的な法教育を開始する。西欧諸国の法律にも通曉していたから、明治政府が彼に寄せる信頼は絶大なものとなつていき、ついには新たな近代刑法典の草案作成を委ねるに至る。こうした流れのなかで、ボアソナード先生は「鶏姦条例」をあっさり削除したわけだ。

「鶏姦条例」を削除した先生の頭のなかにはあったのはナポレオン法典であった。ナポレオン法典は、江戸期の日本と同じくさまざまな法律がまだら模様で社会を管理していたフランスの状況を一変させ、教会の権威でも王権でもなく人間の理性を基盤とする近代法として19世紀初めに成立した法典である。ナポレオン法典の精神を吸収しながら育った先生は、教会法によって断罪・弾圧されてきた男色行為を国家の法律によって裁くことは理性に背くとしたナポレオン法典にならぬ、『鶏姦条例』を葬り去る。我が国最初の近代刑法は先生を通してナポレオン法典の精神を受け継いだわけだ。かつての大英帝国の植民地であり、英国の法律の影響が深く影を落とすアジアの国々、インド、パキスタン、バングラデシュ、ネパール、ミャンマー、マレーシア、

シンガポール、香港——では、いまだに男色行為を違法とする法律が存在する。か最近まで存在していたことを考え合わせると、我が国の近代刑法がボアソナード先生の強い影響のもとに制定されたことはまことに幸いだったのではないだろうか。

先生はその後、民法典の草案に着手、長年にわたるハードワークの末に完成させ、内閣に提出、明治26年施行と決まる。ところがそこから民法典賛成派と反対派のあいだに激烈な議論が巻き起こり、ボアソナード民法典は完全に政争の道具と化し、帝国議会でついに施行延期が決定。このとき反対派の先頭にいたのは、かつて先生に熱烈なラヴコールを送った井上毅であった。井上の頭にあったのは、「今の日本に必要なのは、教会と距離をおき理性性と個人主義を基盤とするフランス法ではなく、皇帝の権力を大幅に認めるドイツ(プロシヤ)法である」という考えであった。井上の草案による明治憲法が天皇を神格化し、昭和のワルトランドシヨナリズムに道を開いていく過程を、晩年のボアソナード先生はどんな想いで見ていたのだろうか。



### 「食事で夏バテを解消！」

気温の高くなる夏。本来であれば、夏は気温の上昇とともに体が動かしやすくなり、活動的になるものです。しかし、暑い日々が続くと体になるさを感じることがあります。いわゆる夏バテです。主な夏バテの原因は暑さに体が疲れてくる、またはクーラーの効いた部屋と室外の温度差からくる自律神経の乱れにより、体の機能をコントロールできなくなるなど、挙げられ、これにより体に不調をきたしてしまいます。あまり知られていませんが、食事のとり方でも夏バテの原因となることがありますので少しご紹介いたします。

夏場は暑さにより胃腸が疲れやすいため、素麺、冷やし中華やざるそばなどあっさりした料理を選ぶことが多く、結果として炭水化物を含む食材を摂る機会が多くなります。炭水化物はエネルギーの源で、

すので一見すると夏バテには良さそうですが、実は炭水化物だけではエネルギーとして利用できません。炭水化物をエネルギーに変換するためにはビタミンB1という栄養素が必要です。夏場の食事は炭水化物に偏りがちになってしまいうためにビタミンB1不足からエネルギーを十分に生み出すことができず、結果として夏バテを起してしまうのです。そのため、ビタミンB1を多く含む食材を摂取することが夏バテには効果的です。ごまやまいたけにもビタミンB1は含まれていますが、ビタミンB1の宝庫として代表的な食材といえる豚肉。その他、うなぎにも多く含まれており、夏の土用の丑の日にうなぎを食べるというのも夏バテ解消という意味では理に適っているのです。ビタミンB1を摂取する上で注意したいことは、非常に不安定な栄養素であるため水に溶けやすく、更に加熱することでも失われがちです。そのため、調理の過程で失ってしまうこともあるので可能な限り調理はすばやく行い、水に浸す時間なども少ない方がよいでしょう。汁物などの場合はビタミンB1が溶け込みますので、汁までいただくようにしましょう。また、ビタミンB1の働きを助ける食材もあり、ネギ、玉ねぎやんにんにくなどがそれに



あたりますので豚肉などと一緒に摂る方がよいでしょう。オススメの献立として豚しゃぶのネギ塩だれや豚肉のガーリックチャーハンなどはいかがでしょうか。これらを食べて暑い季節を楽しく元気に乗り切りましょう。

文 ● 法円薬局 迫田直樹(管理薬剤師) 木村優奈(管理栄養士)  
国立大阪医療センターの西門前に並ぶ院外薬局の中では、一番古い歴史を持つ法円薬局。ジェネリック医薬品を含め、取り扱っている薬品数も一番を誇り、選抜肢もたくさんあるので、来局者に寄り添いながら薬選びの相談に乗ってくれます。〒540-0012 大阪市中央区谷町4丁目3-2 TEL:06-6943-7066

第9回開催決定!! 南田川堂 茶会 中高年代の語り合ひ会

お待たせいたしました! 毎回ひとつのテーマに焦点をあて、その道のスペシャリストをお招きして開催している南界堂茶会。今回のテーマは「食事」にスポットを当てたいと思います。この世に「オギャーッ!」と生まれ落ち人生を全うするまで、食べることは欠かせません。母親の母乳から始まり、何千、何万という食事を摂って過しますが、加齢と共に食生活の変化は誰しもが通る道かもしれません。私の場合30代中盤を過ぎた頃から脂身たっぷりのお肉やこってりラーメンが苦手になり、魚料理やアッサリした味付けが好ましくなってきました。年齢にバラつきはあるかもしれませんが、皆さんも同じような道をたどってきたかと思えます。

また健康診断を受ける「尿酸値が高いので食べるものに注意して下さい!」と言われることもしばしば。どんな食材が好ましくないのかといった食事指導

を受けたい方もありますが、美味しいものは美味しいし、食べたものは食べたいです。ワガママな事は重々承知しています。自らの意志で食生活を変えることは至難の業なのかもしれません。ホンの数年前までは「塩分ひかえめ」「減塩」という言葉がメジャーだったように思いますが、ここ1、2年で「糖質制限」という言葉を耳にし、実際にコンビニやファストフード店でも見かけるようになってきました。こういった言葉がメジャーになるといふ事は、それだけ食生活で悩んでいる人が、改善を余儀なくされている人がいるという事だと思えます。

以前「訪問看護」をテーマに取り上げた南界堂茶会でお世話になった渡辺匡人さんは、ご自身が実際に糖質制限食に取り組んでいらつしやるという事もあり、今回は糖質制限のイロハや留意点などを伺いたいと思えます。渡辺さんに加え、本誌「薬食男源」のコーナーでもお世話になっている薬剤師の迫田直樹さん、管理栄養士の木村優奈さんをゲストに迎え、「食事」をテーマに皆さんで語り合いたいと思います。是非ともご参加ください。(開催時間がいつとも異なりますのでご注意ください)

2018年9月17日(月・祝) 17:30 - 19:00  
会場: コミュニティセンター dista  
第9回テーマ「中高年代の語り合ひと食事」  
ゲスト  
迫田直樹さん(法円薬局管理薬剤師)  
木村優奈さん(法円薬局管理栄養士)  
渡辺匡人さん  
(からあ訪問看護ステーション)



✈️ 海外男街通信

Malawi

アフリカHIV/AIDS事情
~マラウイの医療現場より~



こんにちは。JICA(国際協力分野を担当している行政組織)の青年海外協力隊(職種:看護師)としてアフリカのマラウイ共和国という国で2年間医療活動をしてきた不動茜と申します。今回は皆様にマラウイのHIV/AIDS対策について、私自身の経験も踏まえ、少しお話できたらと思ひ筆を執らせて頂きました。

総生産は日本の約1/120、主な産業はたばことメイズ(トウモロコシ)など第一産業にほぼ限られています。またHIV/AIDS蔓延も深刻であり、全国規模のHIV検査が開始された2003年では陽性率14.2%という、世界的に見てもかなり数値の高い状況にありましたが、現在は人々の努力により9.2%(約2/3)まで減少しています。



筆者プロフィール
文●不動茜
大阪で生まれ、大阪で育った生粋「河内っ子」です。…が、話の中に「落ち」や「ジョーク」を求められることは極めて不得手とし、静かな場所を好みます。またお菓子作りを趣味の一つとし、マラウイではひたすらバナナケーキを作ってマラウイ人と食していました(現地では至る所にバナナの木が植わっていて、甘くておいしいバナナはいつでも手に入ります)。さて、何となく分りにくい性格や経歴をもつ私ですが「女は30歳から」という格言を信じ、この秋より学生に戻るため大阪から長崎へ旅立ちます!!

設でのポスター掲示やコンドームの無料配布、診察に来た住民への健康教育が実施されています。また2次予防では、主に病院の近くに併設された建物でHIV検査やカウンセリングが無料で提供されています。そして3次予防では、看護師やヘルプワーカー(医療者のアシスタント)が車でアウトリーチ(村々への巡回)に行き、教会や小学校時には広場の木の下で医療を提供します。一言でアウトリーチと言っても、状況は過酷です。村までの道は片道約1〜2時間ひたすら進んでいくのですが、車が途中で故障したり、穴にはまって動かなくなることも少なからずあるそうです。私もこのアウトリーチに一度だけ同行しましたが、帰ってきた時は車酔い+疲労感でその場からしばらく動けませんでした。また割礼(HIVウイルスの温床となる陰茎の皮の部分を切除しウイルスが身体上で生息できないようにする手術。これにより感染を約60

%予防できるそうです)も定期的に行われています。医療者が村々を回って男児とその家族に医療施設で割礼を受けるよう説明をしますが、特にマラウイでは国際援助団体からの支援もあり、割礼は大々的なキャンペーンとして実施されています。このように医療者側から地域へ入り込んでいく努力が、病院へアクセスできない人々へ医療を繋ぐ架け橋となっています。その他、国内では既にHIV/AIDSに関するガイドラインが作成されており、副作用出現時の内服薬変更やHIVキャリア妊婦のお産時の対応についてなど、細やかに内容が記載されています(医療者へ十分浸透しているかは疑問ですが)。またHIV/AIDS患者専用のクリニックでは内服薬も無料配布されています。

私にとってマラウイでの2年間は楽しいことと同じくらい辛いこともたくさんありましたが、このように多くの大切なことを学べた、かけがえのない時間になったと思います。
※1次〜3次予防に関しては、世界的基準により「1次予防(検査)、2次予防(検査)、3次予防(治療)と定められています。これは各国の医療状況により異なります。今回は、私がマラウイで活動していた当時の現地の医療状況に合わせて段階分けしています。

男 for you 朋友

台湾エイズファンデーション

名古屋で開催されているHIV検査会を兼ね合わせたイベント「NLGR+」に合わせて、台湾エイズファンデーションのスタッフが来日!

台湾エイズファンデーション

13年前に設立された台湾エイズファンデーション。政府からの補助を受けてはいるものの、6割は行政、2〜3割は個人や企業からの寄付で成り立っている民間組織団体。活動としては①教育プログラム②カウンセリング③検査提供という大きな三本柱がある。その中でも教育プログラムに関しては、支援団体のスタッフが予防啓発を行うだけではなく、陽性者やその家族が学校に向き、実際の経験談を語るというようなプログラムを10年以上続けているとのこと。また今後の展望として、学校だけではなく、職場(企業)への教育プログラムも展開していきたいと考えているらしく、正しい知識を広めながら差別や偏見を解消していこうという働きは、全世界共通なんだろうなと感じました。



また台湾国内3都市で「Gisney Land」というLGBTに向けたコミュニティセンターを運営しています。

台湾の実情

ここ数年台湾でもHIV感染者の増加が問題視されており、その対応策のひとつとして、台湾政府は「PREP(曝露前予防投与)」や「PEP(曝露後予防)」を推進しているそうです。テレビCMや学校教育でも大々的に取り上げられる機会が増えているそう。ハイリスク層に「MSM」や「薬物使用者」が多く含まれている現状は、日本ともそう変わりはありませんが、台湾の厚生労働省HPにはPEPを提供している病院のリストが掲載されており、リスキーな行為があった24時間以内に近場の病院に駆け込む事ができるような仕組みになってはいるとのこと。

ここでハイリスク層の人々にその効果が届いているかは不明な点が多いみたいです。

日本の実情

この交流会自体、ここ数年実施されておられ、私自身も参加するのは3度目でしたが、昨年11月に移転し新しくなったdistaに彼らも興味深々。政府の予算削減に伴い、規模を縮小しながらも運営されているという我々の実情を知っている彼らだからこそ、「distaが広くなったのは新しいスポンサーを見つけたからですか?」という質問も飛び出しました。予算源は以前と変わらず削減されている中で場所を移し最善の策を取ったという事を説明すると「エクセレント!」という返事と共に一気に場の雰囲気や和んだように思います。また検査提供という点では、このコミュニティセンターで実施しているHIV/梅毒検査会「distaでちえっくん!」に申し込んでみてください。興味を示してくれました。ちなみにdistaでは空間の中にカーテンで仕切りを作り、移動診療の許可を受けて検査会を実施しています。



台湾エイズファンデーションに関するフライヤーは、distaにもたくさんありますので是非ご覧ください。